

日本型直接支払による保全活動の継続に向けて

山口県農林水産部農村整備課 課長 鮎川 和文



日本型直接支払に取り組まれている活動組織や集落協定参加者の皆様におかれましては、平素より農業生産活動を通じた農地の保全、農業用施設の維持管理等の共同活動に多大なご尽力をいただきまして、まず厚くお礼申し上げます。

また、農山村地域における過疎化、高齢化による集落機能の低下に対し、地域での取組を支援する交付金制度として、平成12年度に中山間地域等直接支払制度、平成19年度には農地・水・環境保全向上対策がスタートし、制度の変遷や法制化等が行われる中、17年もの長きにわたり農村環境保全に取り組んでいただいておりますことに対しまして心より感謝申し上げます。

さて、多面的機能支払と中山間地域等直接支払は、農業生産活動への支援や地域の共同活動に係る支援を行い、農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を促進する地域施策として農業を強くしていく産業施策と車の両輪をなす重要な位置づけとなっており、山口県においても積極的に取り組んでいるところです。

しかしながら、農地の約7割が中山間地域である山口県においては、高齢化や人口の急激な減少により、これまで行われてきた営農活動や保全活動の継続が困難となりつつあります。また、農地中間管理機構を活用した担い手への農地利用集積による生産性の向上、低コスト化及び高収益作物の導入等による経営体質強化が積極的に推進されていますが、中山間地域においては、傾斜等の条件不利性から担い手の不足、保全活動を支える構成員の高齢化、鳥獣被害の増加等によって体制の維持も厳しい状況に置かれております。

こうした中、多面的機能支払では、活動組織の大半が平成30年度に活動期間満了を迎え、また、中山間地域等直接支払では、平成31年度に実施期間満了という節目を迎えます。新たな事業計画の策定に向けた検討を進めるにあたり、農業者の高齢化や保全活動への参加者不足は、集落内だけでは解決することの出来ない問題であることから、広域化による組織体制の強化が必要不可欠と考えられます。このため、土地改良区、農業生産法人やNPO等の地域活動の母体となる団体との事務等の連携や新たな管理手法の構築等、これまでの取組方法から将来に向けて一歩前進した体制づくりを検討することが必要と考えております。

県内において、これまで多面的機能支払では13の広域活動組織が設立されており、中山間地域等直接支払では、8地域で集落連携が取り組まれております。また、周辺地域の活動組織や集落協定での統合や合併による体制強化にも積極的に取り組むための話し合いも行われるようになりました。今後も体制強化に向け、地域の実情に即した組織づくりなどで各地域への取組を引き続き支援してまいりたいと考えております。

最後になりましたが、山口県の美しい農村環境が後世に引き継がれますように交付金制度を積極的に活用していただき、保全活動が継続されますよう取組へのご理解、ご協力をお願い申し上げます。

■「平成 29 年度 農村振興リーダー研修」が開催されます (岡山市)

主催：全国農村振興技術連盟 協賛：農研機構 農村工学研究部門

活動組織の皆さまには、すでにご案内申し上げておりますが、今年度の標記研修会は「保全活動の広報及び水路の補修」をキーワードに、新たな制度の変更点や手続き、水利施設等の機能診断・補修技術に関する講義、および、一般の方に多面的機能保全活動についての理解を深めてもらう広報など、交付金活動を進める上での重要な内容を盛り込んだ企画となっています。

平成 29 年 11 月 29 日 (水) ~ 12 月 1 日 (金)

岡山ターミナルスクエア 12 階会議室

岡山市北区駅元町 1-4 (JR 岡山駅 徒歩 1 分)

※1 今年度の研修会は、農地維持活動「事務・組織運営等の研修」および資源向上活動「機能診断・補修技術等の研修」どちらにも該当します。(実施状況報告書の 2 活動項目に○)

※2 参加費、宿泊費および交通費は交付金からの支出が可能です。(ただし、懇親会費は不可)

申込締切日：平成 29 年 10 月 13 日 農村整備課計画調整班 (迫田) TEL 083-933-3423

■「平成 29 年度 農村環境の未来を考える研修会 vol. 10」の開催について (未定稿)

※ 詳細は 10 月初旬にご案内申し上げます。

日 時 平成 29 年 11 月 8 日 (水) 13:00~16:00

場 所 山口県総合保健会館 (山口市吉敷)
2F「多目的ホール」および「第 1 研修室」

主 催 山口県日本型直接支払推進協議会



趣 旨

多面的機能支払交付金は、農業・農村の有する多面的機能を維持・発揮するための地域の共同活動に支援を行い、地域資源の適切な保全管理を推進することにより、農業・農村の有する多面的機能を次世代に継承するとともに、担い手農家に対する農地集積という構造改革を後押しするものである。この研修会は、本対策に取り組む多くの活動組織の関係者の知識と技術のステップアップを目的に開催する。

■オープニングセレモニー (13:00~13:30)

田布施和太鼓集団 山城組 「空」

■基調講演 1 (13:50~14:30)

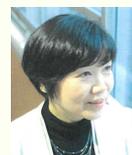
テーマ 「~この 10 年で農村はどう変わったか~」

山梨県副知事

前農林水産省 農村振興局整備部農地資源課多面的機能支払推進室長

ませぎ 柵木

たまき 環



..... 休 憩

■基調講演 2 (14:45~15:55)

テーマ 「不利な条件を乗り越えた国や地域、人々に学ぶ一地域再生の処方箋」

公益財団法人 松下政経塾塾長

前柳井市長

こうちやま 河内山

てつろう 哲朗



編集・発行：〒753-0079 山口市糸米 2-13-35 (県土連ビル 2F)

山口県日本型直接支払推進協議会

TEL 083-933-0755

FAX 083-933-0756

<http://www.tamenteki-yamaguchi.jp>